

京都産業大学 むすびわざプロジェクト in あやべ

京都産業大学 経営学部 松本和明ゼミ

先人たちの事績を紡ぎ、地域振興に活かす

京都産業大学経営学部松本ゼミナール

【取り組んだ課題】

京都府綾部市域の地域資源を活かした活性化策を考察する。

【成果】

綾部市役所をはじめ、綾部市図書館、同市が発祥の地であるグンゼ株式会社および博物苑並びに日東精工株式会社の調査・ヒアリングを実施でき、活性化提案をおこなうことができた。また、綾部市域における諸主体の活動への理解の広がり、計画策定により地域振興への当事者意識の深まり、綾部市域のサステナビリティを改めて強く認識することができた。

綾部市役所訪問

市勢・市政の要諦を学ぶ

鎌部企画政策課長によるレクチャー



松本ゼミ生との意見交換



綾部市図書館訪問

地域の「宝」、知・交流拠点

大林司書によるレクチャー



子どもたちに人気のアイテム



グンゼ株式会社・グンゼ博物苑訪問

同社129年のあゆみは、綾部市域の「誇り」であり、貴重な「資源」でもある

木村苑長によるレクチャー



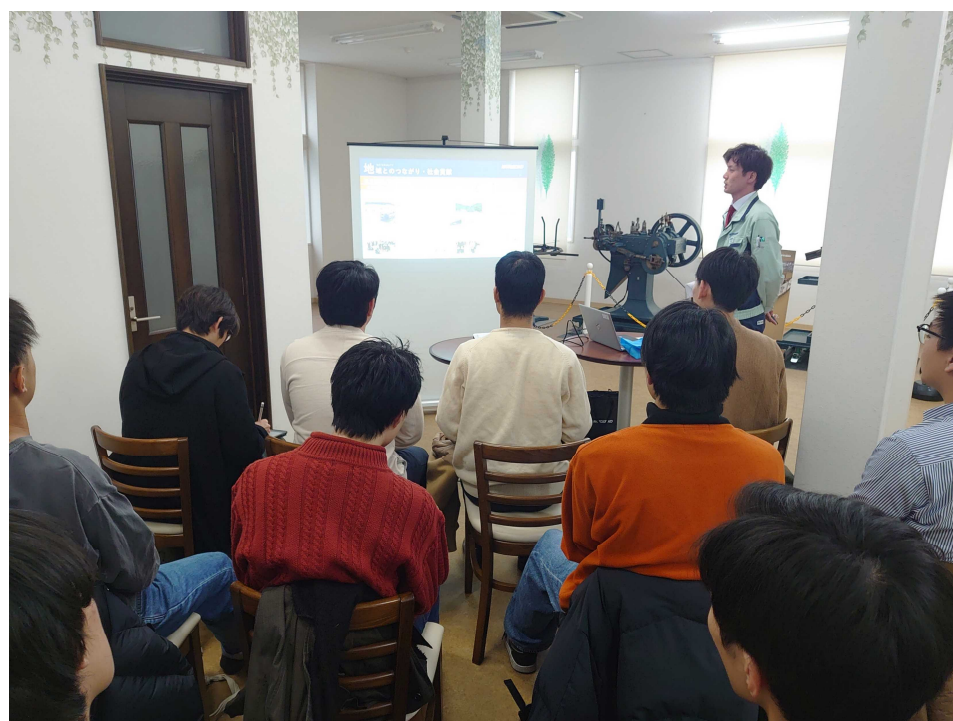
近時の成長エンジン：メディカル事業



日東精工株式会社訪問

綾部発祥のグローバル企業

同社人事課村瀬氏によるレクチャー



話題のグッズ



地域活性化提案①：綾部市をベッドタウンに

☆住みやすいまちづくりに向けて

- 京都市内への通勤通学の交通費補助
- 住宅手当など移住しやすい政策
- 生活インフラの整備（駅・バス・病院・薬局など）
- 学校・ショッピングモールの誘致（例えば滋賀県草津市は立命館大学を誘致）
- 新たな雇用先の開拓・創出

◎1896年の郡是製糸株式会社（現・グンゼ）の創業時、波多野鶴吉は地域養蚕農家の置かれた環境に危機感を抱き、その改善および経済力の拡大を経営方針とした。

◎1938年の日東精工株式会社の設立にあたり、四方重吉らは地域からの雇用創出と定着を第一義とした。

☆現在も、先人たちが有した地域への高い意識や前向きな行動力が必要！

地域活性化提案②：道の駅「あやミュージアム」の新設

- ①交通の要衝である綾部市に新たに**道の駅**をつくる
 - 市内に点在する諸施設のハブに
- ②レストランや販売所を設け、**地域経済の活性化**
 - 「地産外消（商）」を推進
- ③観光案内やイベントを行い、**地域の魅力発信の拠点**に
 - 先人の足跡や世界連邦宣言をPR



今後への課題：「両利きの経営」より

【深化】

綾部市域の先人（波多野鶴吉ら）の事績の更なる研鑽と地域活性化計画への包含

【探索】

綾部市域での新たな関係先を開拓（ex. 農業）

☆最後に、希望

特に中丹他地域との連携・補完の多面的推進